

50周年記念事業

エッセイ・短歌・俳句・川柳

優秀作品発表!

おめでとうございます!



「ありがとう50年 これからもキャンペーン」で生協組合員・ご家族皆さまから
寄せられた数多くの作品から優秀作品を選考させていただきました。



ありがとう50年 これからも

クリックすると該当ページにとびます

1. エッセイ 受賞 作品一覧 ▶▶▶▶▶▶ Click 

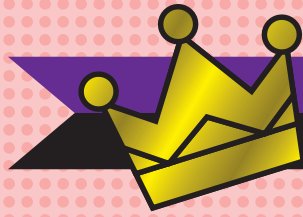
2. 短 歌 受賞 作品一覧 ▶▶▶▶▶▶ Click 

3. 俳句／川柳 受賞 作品一覧 ▶▶▶▶▶▶ Click 

「ありがとう50年これからもキャンペーン」

“クイズ”でご当選された方の声 ▶▶▶▶▶▶ Click 

「エッセイ」 受賞 作品一覧



最優秀賞

Y・M 様

所属：NTT 労組 東日本本社総支部

終業ベルが鳴ると、私は電車に飛び乗り、保育園に駆け込む。子どもたちは空腹と一日遊んだ疲れで甘えたがる。時には泣きわめく息子と娘を半ば引きずるように連れて帰宅し、15分で食卓に夕飯を並べる。週末は平日にできなかった家事に追われている。こんな風に時間に追われているのが我家の育児。いや、育児といえるのか不安になることもある。親として子どもと関わる時間は充分だろうか、子どもとの関係が希薄になっていないか、とふとした時に頭をよぎるのだ。

そんな中、仕事で塞ぎ込んでしまいたくなるような出来事があった。気落ちしている私に、5歳の息子が「お母さんは最高だよ、大丈夫、大丈夫!」と何度もなぐさめてくれる。3歳の娘も心配そうに私の手を握ってくれる。「どうしてそんなに優しいことを言ってくれるの?」と私が聞くと、「あたり前じゃん、家族なんだから!」と息子。 そうか、家族か。 少し前まで、オムツ替えなど身の回りのあらゆることを世話する対象であった子どもたちが、堂々と家族の一員としての主張をするなんて、頼もしいやら誇らしいやら。私の心まで晴れやかに。 慌ただしい毎日の中でも家族としてのチームワークや支え合う気持ちが育ってるのなら、私たち4人はなんとか家族として成長しているということだろうか。だとしたら、これほど嬉しいことはない。



【Y・K 様】 所属：NTT 労組 テルウェル東日本グループ総支部

独り暮らしをしている。望んだ結果というわけでは無いが、まあ機嫌良く毎日を過ごしているので幸せである。祖父母と両親を見送ったあと、そのまま実家に住み着いた。家は古びているが、祖父母が固い地盤に家を建ててくれたお陰で液状化などの心配も無く、両親が「昭和の大改築」と呼びたいほどに笑っちゃうほど頑丈に立て直した家は、東日本大震災の時に物ひとつ落ちなかった（東京だが）。今も我が家はしっかりと立っている。家族の暮らし、思い出に満ちたこの家が、私は大好きだ。この先もこの家で暮らし続けたいと思っている。孤独死の心配があるにしても、まだそれは見ないふりで。

【M・H 様】 所属：NTT 労組 東日本本社総支部

単身赴任中に大学生の娘が自動車運転免許を取得した。だが運転したいとも車を貸してほしいとも言わない。私が車の免許を取ったのも娘と同じ歳の頃、とにかく自分の車を手に入れたくてバイトに明け暮れ、やっと手に入れたのは中古の赤いファミリア。友人とともに海へ山へと駆け回ったのは30年も前か。友達と車で遊びに行こうと思わないのか？今時の若者の車離れなのか？と訊いたら「お父さんが大事にしている車は乗りづらい」と言う。自家用車は10年前の国産ワゴン車だが、一度だけ事故で修理工場に出した以外はほとんどの修理・整備を自分でやってきた。娘の目には「大事にしている」と映っていたらしい。夏休みに「ぶつけてもいいから好きに乗ればいい」と伝えたら、しばらくして絵文字混じりで「ごめ〜ん、壁にこすっちゃった」とバンパーの擦り傷の写真つきでLINEが送られてきた。念のため「ケガは無いか？」と送れば、「大丈夫。直しかた教えて〜」と返信が来た。「修理してくれ」ではなく「修理の仕方を教えてくれ」ということか。しかたないなあ、次の帰省は修理作業でつぶれちゃうじゃないか。まずは娘の作業服が必要だな…などと思いを巡らせ、冷蔵庫から缶ビールをもう1本取り出した。

【J・F 様】 所属：NTT 労組 南関東総支部 Y・F 様ご家族

あの日、余震におびえながら見ていたテレビの画面に映ったのはCGではなく恐ろしい現実だった。2011.3.11.千葉県内の生まれ育った街が津波に吞まれ車や家が積み重なっていた。何度も連絡し電話が繋がった時、家族は避難所にいた。後で知った事だが、大きな被害が出て私の故郷は一変した。たくさんの家が流され、見えるはずのない海が見渡せるようになった。小さい頃から遊んでいた場所は跡形もなくなった。あの静かで穏やかな海が一瞬にして、悪魔のように街を呑み込んでしまった。あれから5年、実家へ帰るたびに少しずつ新しい家が建ち始め、街は顔を変えながら戻りつつある。もう5年なのかまだ5年なのかわからないが、自分の災害に対する意識もだいぶ薄れている気がする。避難用品も賞味期限が切れたり、使用してしまったり、とても充分とはいえない。心に緩みがあるのだろう。忘れた頃に自然はまた牙をむくかもしれない。普通が当たり前ではない事をもう一度思い出し、家族と災害に対する話をしてみよう。



【N・K 様】 所属：NTT 労組 東海総支部

「運動会、応援団で頑張ったのに、赤組負けて悔しかった」そんなセリフと少しむくれた顔。僕は娘の成長日記を1日1コママンガで描いている。もともとは、娘が大きくなった時に小さい頃のできごとを振り返られるようにしてあげたい、と思い育児日記として始めたことだった。見開き16コマのノート。生まれる日の前夜、妻を車に乗せて病院へ向かうシーンから始まり、まもなく娘は11歳。日記は4冊めが終わろうとしている。生まれた日のこと。その翌日の大雪。初めてしゃべった言葉が「あーか(赤)」だったこと。幼稚園に入り、自転車に乗れるようになり、小学校に入学し、泳げるようになり、高学年で部活をするようになる。その都度、夫婦で喜び、笑いあった。行楽に行き、泊まりの旅行に出かけ、家族の記念日を祝い、墓参りに行き草むしりをする。いつしか、育児日記は家族の記録になっていった。他人に見せたり、ブログに載せたりするわけではないが、リビングの横に置いてあって、妻も娘もいつも読み返している。その瞬間に、これまでの約4000日の風景が目の前に広がる。できれば、これからも描き続けていきたい。娘が、もう恥ずかしいから私のことは描かないで、と言う日が来るまでは。

【Y・O 様】 所属：NTT 労組 東京総支部 Y・O 様ご家族

「自転車」今日も何回転んだだろう。膝に擦り傷のできた息子が、泣きながら倒れた自転車を起こす。背中を押されて勢いのついた自転車は、進路を失い何度も倒れた。「もうやりたくない!」と泣く息子に、「もうすぐ5歳なんだから頑張きなさい。」と、必死な私。少しでも早く、自分でなんでもできるようになってほしい。少しでも早く、大きくなってほしい。おねしょの布団を洗う度こぼしたミルクを拭く度保育園から職場へ電話がかかってくる度そんなふうに思わずにはいられなかった。でも息子がやっと自転車に乗れるようになりふと気が付いた。毎日一緒に乗っていた、私が必死で漕いでいた、あの自転車の後ろに乗らなくなる日が近いのだということに。保育園の送り迎えで毎日一緒に乗っていた自転車。寒い日はくつつきあって背中にぬくもりを感じていた自転車。後ろから楽しそうな話声が聞こえる自転車。沢山の思い出を運んできた自転車。そんな幸せな自転車に、私はもう乗れないのだ。おねしょもミルクも、近くにあると気が付かないけど本当はどれも小さな幸せ。すぐになくなってしまふ、儚い幸せ。私の腰にしがみつく小さな手を、一生忘れない。





【T・S 様】 所属：NTT 労組 持株グループ本部

「急がば回れ」運転歴は46年になる。無事故無違反歴は30年で、ゴールド免許だ。30年前「御用」になった時のことは今でもハッキリ覚えている。転勤して間もない頃、家族で買い物を終えた帰り道のことだった。そこは高架の上りにかかる手前で、左右それぞれに一方通行だった。転勤後、何度かそこを通った時は遠回りだがしっかり守っていた。だが、その時は魔がさした。前から後ろからも車は来てない。よしっ今だ「エイッ」と右折。曲がった先には、お巡りさんが「ハイ、こっちへいらっしゃい!」「すみません、転勤してきたばかりで分かりませんでした」と、とっさの私の言い訳に「ああ、そうなんですか、でもね、ここは右折禁止なんですよ」。何とも優しいお巡りさん、ニッコリ笑いながら切符を切られた。あれから30年、正直、違反をしてないとは言わないが「御用」にはなっていない。無事故無違反歴を、20年、25年、30年と重ねるほどに、それをゼロクリアしたくないと反射的に思うようになり、自然と心にブレーキがかかるようになった。「急がば回れ」。まさしく、30年前の出来事はそのものであった。私は今65歳。あと、15年運転出来たら、無事故無違反歴は45年になる。いや、どうせなら、区切り良く50年を目標にしてみよう。

【K・T 様】 所属：NTT 労組 退職者の会 大阪支部協議会

別れ 愛車を手放すことにした。私は昨年9月、とうとう後期高齢者になってしまい、しぶしぶ妻の説得を受け入れたのだ。高齢者が運転する車の事故が多発しており、その警鐘を鳴らす新聞記事を手に迫られたので、上手く言い逃れできなかった。今年の5月、明日業者に車を引渡すという日だった。妻が言う。「お天気も良いし、カローラ綺麗にしてあげようよ」「そうだなあ。ずいぶん古くなったが、別れの化粧をしてやるか」ホースの水を勢いよくシルバーの車体に掛けていると、思い出が蘇ってくる。名神高速道路で、坂を上りきったら目の前に車が横転していた。ブレーキで停まれる距離ではない。咄嗟にハンドルを切った。「ピピッ」と隣のレーンから警笛が鳴る。冷汗を掻いたが辛くも無事だった。他にも「ヒヤリ」「ハット」は何度かあった。だが間一髪、幸運にも何事もなく済んだ。私は決して運転が上手い方ではないが、お陰で今はゴールド免許だ。運をもっている車だ。一応廃車になるが、また、どこかアジアの街で元気に走っているのではないかと思っている。そうあって欲しいと願いながら、私は磨く雑巾に力を込めた。

【K・A 様】 所属：退職生協組合員

<おにぎりの教え> 大震災の翌年8月、私は自転車で東日本大震災復興行脚(稚内⇒鹿児島⇒熊本)を決行した。その主目的は、被災地の激励と大震災の教訓発信、警鐘であった。その道中、私はあるまじき不覚を取ってしまった。連日の厳しい峠越えの蓄積疲労と昼食を摂り損ねての空腹が重なってダウンし、山中の道端に横たわっていた。そこへ車で通りかかった主婦が、私の異変に気付き声をかけてくれた。私は恥も外聞もかなぐり捨て、全てを話した。主婦は、「ここ南三陸町は津波でコンビニも食堂も流され、何も無いんですよ」、そう言って走り去った。30分後、その主婦が今度は歩いて現れ、「家に何も無かったの。梅干ししか入ってないけど、これ食べて元気付けて、九州まで頑張ってね」と、温かい大きなおにぎりを一つ差し出した。帰って行く彼女の後姿を追う私の目から涙が溢れ、ポタポタおにぎりに落ちた。そこは被災地、被災地激励が真逆になり、私は恥ずかしい気持ちにも襲われていた。その後の行脚は、あの主婦の優しさ・激励を思い出しては涙し、バネにして鹿児島経由熊本まで連続57日間、3485kmを走破し、日本縦断の復興行脚を終えた。その2日後、私は69才の誕生日を迎えた。今、私は受けた恩を石に刻み、自らもそれを実践するよう日々心がけ、穏やかな老後を過ごしている。



【M・F 様】所属：NTT 労組 退職者の会 兵庫県支部協議会

「1・17」を忘れない 1995年(平成7年)1月17日午前5時46分阪神・淡路大震災が起きた。地震発生の二日後に壊滅状態の神戸市内に入った。電話回線の復旧工事の従事者への食料輸送である。地震発生時に起きた火災で、街の大半を失った長田地区は黒煙が上っていた。倒壊したビルで塞がれた道路を避けながら、車を走らせた。地震から二週間程した二月上旬、「肌着」類を買いき求め妻と知人の三人で再び神戸市を訪れた。兵庫駅で電車を降りた。ここから先は電車が走らない。訪問先では、空き地にテントを張り四世帯が避難していた。零度に近い気温の中で身を寄せ合っていた。帰途、高台にある公園の公衆トイレに立ち寄った。トイレの周辺は、遠く離れた場所まで汚物が拡がり、まるで地獄図そのものだった。自宅のトイレが使えず、昼夜を分かたず公衆トイレに向かう被災者の無念の思いに胸が詰まった。地震発生から二週間、日常遭遇しない異時元の体験をした。「災害」が起きると想像を絶する過酷な状況が生まれる。「災害」に立ち向かう気持ちをいつも忘れずに、持ち続けたいと思う。

【K・O 様】所属：NTT 労組 九州総支部 K・O 様ご家族

娘が中学生になるのを機に終の棲家としてマンションを購入した。主人と出会い、縁あって結婚し、最初は一軒家の借家に新居を構えた。しかし、子供が産まれるということで社宅に引越し、さらに社宅の統廃合で別の社宅にと棲家を変えつつのやっとのマイホームだった。しかし、その年に主人が単身赴任となり、娘との二人暮らしになってしまった。単身赴任で週末にしか帰れぬ主人、フルタイムで働く私。一人娘の寂しさを紛らすためにインコを飼うことにした。「ただいま。」と帰ると「おかえり。」と迎えてくれるインコは娘にとっても、そして私たちにとっても家族の大切な一員となった。。それから10年が経ち、インコも代を重ね、今年、娘が就職し、このマンションから巣立っていった。思ったより寂しいとは思わないと強がりを言っていたが、結局、インコ以外の家族を迎えてしまった。ヒョウモントカゲモドキと言うヤモリである。餌は生餌のコオロギ。コオロギの世話も始まった。さらに主人が夏の終わりにカブトムシを買って帰ってきた。どんどん生き物が増えている。たまに帰ってくる娘は今度はウサギねとアピールしてくる。うちが動物園になっちゃうと言いつつも、家になにかいないと帰る気がしないのは私だけだろうか？主人もそう感じてるのかなと思いつつ、世話をしていると言いつつも、世話をさせてもらっている小さい家族達と共に、皆がマンションの一室に揃う週末をいつも心待ちにしている。

【H・F 様】所属：NTT 労組 東日本本社総支部

10月に46回目の誕生日を迎えた。この年になると誕生日を迎えることへの思いは人それぞれであると思うが、私にとっては、家族全員で食卓を囲んで祝ってもらえる楽しいイベントの一つである。数年前の誕生日の出来事が今でも忘れられない。その日は職場の同僚に、家族がお祝いをしてくれるので、と言って定時で退社。新宿からいつもは乗ることのない特急に乗って、これ以上ない速さで帰宅した。夕食は妻にリクエストしておいた大好物の煮込みハンバーグ。息子がサラダをつくり、豪華な食卓になった。デザートはもちろんバースデーケーキ。年の数のろうそくを吹き消し、娘が入れた紅茶を飲みながら家族4人で団らんしていると、なぜか、最近やってしまった夫婦げんかの話題になった。息子が妻に聞く。「母さんは本当に父さんのこと好きで結婚したの？」妻が一言。「好きでもない人のために、こんなに手間をかけてハンバーグをつくるわけがないでしょ!」と。サラッと言われたこの一言が心に響いた。健康ならば、まだまだ40年近くは妻と一緒に暮らしていくことになるだろう。ここまで家族を支えてくれてありがとう。いろいろ迷惑をかけますが、これからもよろしくお願いします、と心の中で妻に感謝した。



【M・T様】所属：NTT 労組 中国総支部

32年前の結婚で一つの物語が始まった。いきなりの別居生活。翌年に息子、4年目に娘が誕生した。一つの家族にはたくさんのドラマが生まれる。私の家族も育児、子供の病気、子供の入学と卒業、子(親)離れ、子供の結婚と、ほとんどが子供に関することで、笑ったり、泣いたり、怒ったり、喜んだりしてきた。順調だった40代半ば、私は突然鬱にかかり、臥せっていた。そのとき、妻が「父さん、外でテニスでもやろうか?」とやさしい笑顔で誘ってくれた。もう夜になっていたが、家族4人で少し離れた広域公園へ行き、街灯の灯りで、テニスのまねごとをした。その一言に支えられ私の鬱は治り、元の生活に戻ることができた。家庭はいつも楽しい団欒の場ばかりではなく、常に問題を抱えている。家族だから言わなくてもわかる、外で気を遣っているんだから家庭で気は遣いたくないと思いがちだが、家族だからこそ口に出し、気を遣わなければいけないと思う。なぜなら家庭こそ一番気を癒してくれる場所であり、いろんなことができる原点だと思うから。大切な家族。これからも笑顔あふれる家族でいたいし、娘も結婚した今、新しい家族が支え合う新しいドラマを応援し、見守っていきたいと思う。

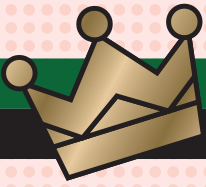
【Y・N様】所属：NTT 労組 コミュニケーションズ本部

「あの時の親父の言葉」「家ば建てんとなら、木ば植ゆっぞ!どぎゃんする!」親父がいきなりそう言い出したのは、6年前の正月実家でのことだった。実家前の道路を挟んだ物置がある敷地は、駐車場として使っている空き地だった。かなり酔いが回った頭で、何となくここに家を建ててもいいかなとふと思った。とは言え、職場は他県でもし家を建てても、ここから通うのは難しいなとも考えていた。意外なことに妻は、「家を建ててもいいんじゃない。」などと言ったのを覚えている。話はそこからトントン拍子に進んで行き、年内には家を建てることになった。ところが、何せ田舎の土地で、境界もはっきりせず「筆界未定」状態のため、住宅ローン融資も厳しい状況に陥ってしまった。ところがここで親父が、隣接地の隣人3人及び市と交渉して境界確定の話をまとめ上げ、ついには晴れて「筆界未定」状態が解消した。それから、地盤補強、地鎮祭、棟上、餅撒きと続き、次の年の1月ついに自宅は完成した。いま考えると口下手な親父は、私に同居か近くに住んでももらいたくてあんなことを口走ったのかなとふと思うことがある。一昨年に他界してしまった親父に、少しは親孝行らしいことが出来たかなと、今では考えている。

【S・T様】所属：NTT 労組 退職者の会 静岡県支部協議会

ミューちゃん 私、東京の麻布で生まれました。 よちよち歩きころ、地下駐車場に落下し、レスキュー隊に救出してもらいました。 優しい寛子さんに出会い引き取られましたが、事情があり、その後お姉さんの真理子さんの所へ新幹線に乗ってやってきました。 田舎の生活は自由で、それは、それは楽しい日々でした。でも、小さな子供は苦手で時々真理子さんの甥や姪が遊びに来て大声を出したりする時は、二階の片隅に避難して食事トイレも我慢し、ひたすら帰るのを待っていました。 真理子さんが出勤するときは玄関先で見送り、夕方はお帰りの三十分前には玄関で待ち続け、お風呂も真理子さんと一緒に入り、浴槽の上でじっとしていました。 平凡な毎日でしたが、今年の夏頃から少しずつ食欲が無くなり、十一月に入り一か月の点滴も効果無く、家族みんなに見送られながら、十四年半の私の生涯は終わりました。 家族の一員として大事に、大事にさせていただいた皆様に感謝です。

先日、かかりつけの病院から「ミューちゃんのご冥福をお祈りします」と手紙が添えられて真っ白なシクラメンが玄関先に届けられました。



佳作

【E・N様】所属：NTT 労組 退職者の会 新潟県支部協議会

「約束」 ゴルフが大好きで、病気らしい病気をしたこともない夫が突然「悪性リンパ腫」を宣告されました。六十才でした。妻の私も子供たちも「もって半年」という医師の言葉に愕然としました。病床の生活が四ヵ月を過ぎた頃、夫は都会で暮らす長男を枕元に呼んで「遺言だ」とノートに書くようにいいました。家のことや葬式のことまで淡々と語って、しみじみと言葉をつづけました。「残念だが生きられない。残していくお母さんに寂しい思いをさせないように、兄妹二人で守ってくれ。お母さんを頼む。約束だぞ」無念をかみしめるように大粒の涙が夫の頬を伝っていました。夫は入院から五ヵ月で亡くなりました。定年後の生活を楽しみにしていた私の夢は無残に破れ、寂しさと悲しみのどん底に突き落とされました。二人の子供たちは都会で就職。「何で・・・」と深いため息をつく毎日が始まりました。夫の月命日は六日。毎月六日を前後して息子と娘からハガキが届くようになりました。忙しいのでしょうか。大きな字で二・三行。「お母さんガンバレ。落ち込むな。楽しく過ごして!」「明るい心が、幸せを連れてくる」お父さんとの約束を、実行してくれている子供たちに励まされて、私は元気に楽しく暮らしています。



「短 歌」 受賞 作品一覧



最優秀賞

S・T 様

所属：通建連合 協和エクシオ H・T 様ご家族

作 品

朝霧を照らす小さき灯持ち君が先行く息はずませて

選 評

朝霧に滲む小さな「灯」が、独特の叙情をもたらし、おだやかな恋心を演出しています。現実の道を照らす「灯」は、今後の長い人生の道しるべでもあるようです。「息はずませて」の語に期待感が込められ、爽やかな青春歌となっています。



【Y・M様】 所属：NTT 労組 退職者の会 長野県支部協議会

作 品 溜めた息吐き出すように降る雪に除染土入れし袋の並ぶ

選 評

はらはらと降る雪を「溜めた息を吐き出すように」と表現した比喻が秀逸。天も人間のすることにあきれかえってしまったのでしょうか。虚しく置かれた除染土の入った黒い袋と白い雪とのコントラストも鮮やかです。

【H・N様】 所属：通建連合 九州

作 品 戻らぬと決めた我が家の軒下に亡き妻の影暑き夏の日

選 評

かつての「我が家」には、今は亡き妻との日々の記憶が色濃くつまっていたことがうかがえます。夏の暑さが、その気持ちの熱さに通じるようだ。誰もいなくなったその家で、いつまでも妻の魂だけが浮遊してるようで迫力があります。

【Y・A様】 所属：NTT 労組 退職者の会 愛知県支部協議会 K・A様ご家族

作 品 吸うこともなかった義母の両乳房湯ぶねに浮かせ癌を確かめ

選 評

授乳期を過ぎてから一緒に暮らすことになった「義母」なののでしょうか。直接授乳してもらったわけではないが、その母性によって自分は育ててもらったという感謝の念をこめて丁寧にその病巣を探っています。

【N・T様】 所属：NTT 労組 退職者の会 和歌県山支部協議会 S・T様ご家族

作 品 視野狭くなりゆく母の手を取りて守歌聞きし合歡の道ゆく

選 評

加齢により視野が狭くなった母の手を取って歩きながら、母がまだ若く、自分が幼かったころの時間を思い出しています。遠い日の子守歌が記憶の底からよみがえり、一首をやさしく、切なく覆っています。

【Y・Y様】 所属：NTT 労組 退職者の会 兵庫県支部協議会

作 品 すだちの実あまたつけたる結び年青葉に紛れどこまでも青

選 評

「すだちの実」が青春性の象徴として歌の世界をさわやかに彩っています。すだちの青と青葉の青、青空の青など、少しずつ違う「青」が、絶妙なバランスを取りつつ、独特のニュアンスを醸し出しています。



【Y・O様】 所属：NTT 労組 東京総支部

作 品 悲しみに折れた心も集めれば焚き火を灯す幾重の枝となる

選 評 「悲しみ」があたたかな炎となるイメージが素敵です。「折れた心」と「枝」と、重ねる比喩の質感に説得力があります。

【Y・N様】 所属：NTT 労組 退職者の会 福井県支部協議会

作 品 リハビリを終えし兄の手引きながら窓辺に寄れば花石 落まぶし

選 評 リハビリをしながら、ゆっくり快癒していく兄。窓辺から見えた石落の鮮やかな黄色い花は、エールのようです。

【M・N様】 所属：NTT 労組 退職者の会 鹿児島県支部協議会

作 品 亡き夫の携帯電話抱きしめて「今どこですか」と涙流れり

選 評 生きている間はどこにいても繋がった携帯電話。亡くなったのちもかければ応えてくれる気がした。切ない。

【K・I様】 所属：NTT 労組 関西総支部

作 品 eメール一時間後の第一報無事という文字繰り返し見る

選 評 「一」という数字が二回も出てくるが、祈るように待っていた切実な心境と響きあう。「無事」という二文字のこれ以上ない強さです。

【U・O様】 所属：NTT 労組 退職者の会 大阪支部協議会 K・O様ご家族

作 品 秋空の青きに^{つま}ひたり調べ聴く夫と^{ひととき}静かな一刻を持つ

選 評 野外コンサートでしょうか。自然の音に耳を傾けているとも詠めます。いずれにしても豊かなひとときです。



【M・K 様】 所属：NTT 労組 退職者の会 福井県支部協議会 T・K 様ご家族

作 品

初めての酸素吸入初めての夜間外来ベット10番

選 評

はじめての経験が、臨場感たっぷりに描かれています。「酸素吸入」「10番といった具体が生きています。

【H・S 様】 所属：NTT 労組 退職者の会 茨城県支部協議会

作 品

捨て難き在職当時の参考書朱書きのメモにルーペを当てる

選 評

若いときに書いた朱書きは、今では細かすぎて読みにくいことがうかがえます。自分ががんばってきたことに対する誇りが滲んでいます。

【E・M 様】 所属：NTT 労組 退職者の会 岐阜県支部協議会 T・M 様ご家族

作 品

夫の介護に朝々満員満員バス乗る 八十五歳の足ふん張って

選 評

文字を違えての「満員」の繰り返し、その困難さを伝えています。気持ちのこもった素朴な力のある一首です。

【T・F 様】 所属：退職組合員

作 品

菜の花の黄色優しき矢田川は雨にけむりて人影もなし

選 評

人影もない淋しい風景だが、菜の花の「黄色」を「優しき」と捉えたことであたたかみが出ています。瑞々しい叙景歌です。

【M・K 様】 所属：NTT 労組 退職者の会 秋田県支部協議会

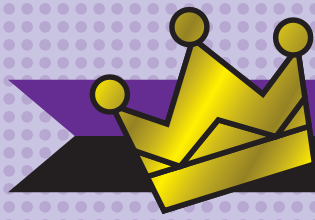
作 品

母逝きて主なき椅子をそのままに お茶煎れてみる今日は命日

選 評

いつも使っていた椅子をいつものように置くことで、いつもの会話がはじまるよう。切ないけれど、あたたかい歌です。

「俳句/川柳」 受賞 作品一覧



最優秀賞

S・H様

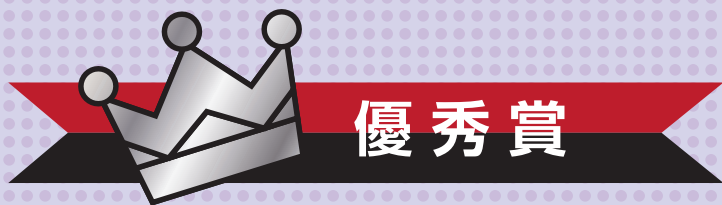
所属：NTT 労組 退職者の会 福岡県支部協議会

作 品

鏡まえ「ま! いっか」まで一時間

選 評

鏡の前で自分と向き合いながら、一時間何かを許せない気持ちでもんもんとする気持ちで過ごしたのでしょうか。「ま! いっか」の一言のセリフで、それまで思い悩んでいたことと、その気持ちを一度リセットしたことが分かり絶妙です。



【K・H様】 所属：NTT 労組 退職者の会 福岡県支部協議会

作 品 ユーモアがまだあるうちに遺書を書く

選 評

「遺書を書く」という行為はシリアスなことだが、元気でまだまだ先のことだと「ユーモア」にできています。現実を引きつけても、確かにそうなのだろうと納得させられます。

【T・K様】 所属：NTT 労組 退職者の会 滋賀県支部協議会

作 品 恐竜展出て少年の夏終る

選 評

少年の好きな「恐竜展」から少年が出てくることによって、なにかを達成したような心地を与えます。「夏終る」という季語を重ねることによって、季節がめぐるということと、少年の精神的な成長の暗喩となっています。

【M・E様】 所属：NTT 労組 退職者の会 福島県支部協議会 H・E様ご家族

作 品 軸ぶれてだんだん狭くなる歩巾

選 評

加齢によりうまく歩けなくなることを、客観的、物理的に表現したことでかえってその切なさが浮き彫りになっています。「だんだん」は歩幅の狭さと、時間的経過の両方を表現していて、効果的です。

【M・F様】 所属：NTT 労組 退職者の会 岐阜県支部協議会

作 品 家ありて家庭のありて煮大根

選 評

だんだん素材が小さくなる入れ子状態のような構造が楽しいです。煮大根が、時間をかけた家族の味わいに通じています。

【S・Y様】 所属：NTT 労組 退職者の会 福島県支部協議会

作 品 パスポート主婦でない日の妻の顔

選 評

日々主婦として家の中での仕事をこなしている「妻」だが、「パスポート」に貼られたその写真は、海外に飛び立つことへの希望に充ちた、生き生きとした表情だったのでしょうか。夫から見た妻への視線が新鮮です。



【A・Y 様】 所属：NTT 労組 退職者の会 新潟県支部協議会

作 品 すぐに出ぬ妻の旧姓日向ぼこ

選 評

妻の旧姓が思い出せないのは、それだけ結婚してからの時間が長いということでしょうか。すっかり結婚した家の名に馴染んでしまったことが伺えます。

【T・F 様】 所属：NTT 労組 退職者の会 徳島県支部協議会

作 品 プレートの上に人類住みて冬

選 評

いつ地震がおきてもおかしくない、活断層のある「プレート」の上に住む私たち。批評性のある切り込んだ作品です。

【T・S 様】 所属：NTT 労組 退職者の会 茨城県支部協議会

作 品 息たえた孫のひつぎに桃の花

選 評

悲しみがひたひたと伝わります。小さな棺の中の「桃の花」が幼い魂を慰めるとともに再生への祈りにも通じています。

【K・K 様】 所属：情報労連 東京ブロック 退職組合員 T・K 様ご家族

作 品 摘まみ菜の味噌汁うまし病む我に

選 評

結句の「病む我」によって、「摘まみ菜」というささやかな食品が切なさを醸し出しはじめ、「うまし」が深いです。

【S・N 様】 所属：通建連合 協和エクシオ

作 品 子育てで悩む私が育てられ

選 評

子育ては必ずしも思い通りにはいかず悩みます。しかしそれは、自分が育てられているのだと認識すれば楽になれるのではないのでしょうか。



【T・K様】所属：NTT 労組 持株グループ本部

作品

子どもふえ夫の命重みまし

選評

命が増えることによって命の「重み」が増すという気付きに、はっとさせられました。「まし」という言いさしが、続く時間を示唆しています。

【T・O様】所属：情報労連 近畿ブロック

作品

家族にも素直に伝える「ありがとう」

選評

「ありがとう」というこの大事な言葉を、毎日顔を合わせる家族だから言ってあげられない。「素直」が強く響いています。

【H・K様】所属：NTT 労組 北関東信越総支部

作品

あれこれで会話完成あゆみちゃん

選評

電通共済生協のキャラクターである「あゆみちゃん」を用いて、長い年月を経た家族ならではの会話をユーモラスに表現しています。

【M・I様】所属：NTT 労組 退職者の会 北海道支部協議会

作品

草もみじ出水のあとの河川しき

選評

夏の終わりの台風による「出水」(河川の氾濫)がおさまったあとには、秋が来たことがわかります。叙情性のある一句です。

【S・I様】所属：退職生協組合員 M・I様ご家族

作品

広い家なのに一間で用が済み

選評

たくさん部屋があるのに、結局いつもの居間に家族が集まるのでしょうか。仲がいいことが端的に伝わり、ほほ笑ましいです。

おめでとうございます!



ありがとう50年 これからもキャンペーン

“クイズ”でご当選された方の声

この度は電通共済生協の
「ありがとう 50 年 これからもキャンペーン」“クイズ”に
多数のご応募ありがとうございました。
厳正なる抽選の結果、多くの方が豪華賞品をゲットされました。
ここでは当選された方々の慶びの声を一部ご紹介します。



ありがとう50年 これからも

「あいがとう50年これからもキャンペーン」

“クイズ”でご当選された方の声

トレンドコース(ダイソンスーパーソニックヘアードライヤー)

当選者のコメント	所属／お名前
電通共済50周年おめでとうございます。 ヘアードライヤーが当たるとは思っていませんでしたので、我が家にとっては快挙です。早速、私が使おうとしたところ、坊主頭のため必要ないと言われ、妻・娘2人が喜んで使っています。 電通共済生協さんのおかげで私の株が上がりました。これからも、より良い共済制度を提供してください。ありがとうございました。	NTT労組東京総支部 ご所属の方
電通共済生協50年おめでとうございます。 今まで3,000円のヘアードライヤーを7年愛用しつづけていたため、思わぬグレードアップに大変喜んでおります。 売りとしている「大風量」「小音量」「低温乾燥(傷めにくい)」を早速実感しております。このたびはありがとうございました。	NTT労組東日本本社総支部 阿部 翔太 様
本当に当選するとは、考えてもいませんでしたので、大変驚いています。(家族全員も)ダイソンヘアードライヤーは、以前から購入を検討していたので、待ったかいがありました。大事に使わせていただきます。ありがとうございました。	NTT労組関西総支部 増村 徹 様
ヘアードライヤーありがとうございました。 まさか、当選するとは思っていませんでした。 大切に使用させていただきます。	通建連合北海道 ご所属の方

ヘルスコース(マットレスパッド エアウィーヴ ライト)

当選者のコメント	所属／お名前
(まさか当選するとは・・・!)と嬉しい驚きです。仕事で疲れた体をゆっくり癒します。ありがとうございました!!	通建連合CHD連合 ご所属の方
ありがとうございます。とてもうれしかったです。 おかげ様でぐっすり寝むれそうです。	NTT労組北海道総支部 ご所属の方
大事に使わせていただきます。 まさか当選するとは思いませんでした。この度は賞品を送っていただきありがとうございます。	NTT労組東北総支部 橋本 大資 様

これからも生協組合員・家族の「安心・安全」のためにがんばります。



家族でHappy!コース(ジェフグルメカード)

当選者のコメント	所属／お名前
設立50年 おめでとうございます。 これまで“当選”というものにまったく縁のなかった私に新年早々嬉しい知らせが届き、喜びとともに少々うろたえています。 夢ではないことを実感しながらグルメカードを通じて家族の絆をさらに深めたいと思います。	NTT労組北関東信越総支部 小野 司郎 様
仕事から帰り、ポストの中に不在通知が入っており、最初は保険証書かなと思って開けたらジェフグルメカードでした。 家族でHappy!コースということなので親と一緒にごはんへ行きたいなと思っています。 懸賞なんて当たっても、と思っていましたが、当たったと思うと嬉しいです。	NTT労組東海総支部 ご所属の方
今まで抽選で当たると言えば町内会の役員などしか当たらなかったのでびっくりしました。 とてもうれしいです。ありがとうございました。	NTT労組関西総支部 ご所属の方
ありがとうございます。家族全員、大変喜んでいます。 今後、家族のイベント(誕生日など)で贅沢に利用させていただきます。 家族の絆を深める賞品を頂けたと思います。	NTT労組持株グループ本部 ご所属の方
電通共済生協50周年おめでとうございます。 グルメカードの景品が届いたときは本当に驚きました!この景品で家族と一緒に美味しいものを沢山食べに行きたいと思います。 大変豪華な景品をいただき、大変嬉しく思います。ありがとうございました!	NTT労組データ本部 ご所属の方

フッキングコース(ヘルシオ ホットクック)

当選者のコメント	所属／お名前
このたびは素晴らしい賞品を頂きありがとうございます。 私同様、料理好きの家内も大変喜んでおります。 電通共済生協様におかれましては、50周年を契機に組合員の安全・安心のために更なるご尽力を頂きますようお願いいたします。	通建連合東北 情報インフラユニオン 石澤 正行 様
何気なくキャンペーンが気になり、クイズに答えて申し込んだら、素敵な賞品が当たり、とっても嬉しいです。十数年、電通共済に入ってよかったな、と感じております。 また、楽しいキャンペーンをお願いします。ありがとうございました。	NTT労組 コミュニケーションズ本部 ご所属の方
50周年キャンペーンで、最も欲しかったホットクックをいただき大変嬉しく思います。家族の健康のために活用していきたいと思います。	NTT労組東日本本社総支部 ご所属の方

*上記、氏名の掲載されている方については事前に承諾を得て掲載しています。

おめでとうございます!



ありがとう50年 これからもキャンペーン

ご当選された退職組合員の皆様の声

この度は電通共済生協 創立50周年 プレゼント企画

「ありがとう50年 これからもキャンペーン」に

多数のご応募をいただき、ありがとうございました。

厳正なる抽選の結果、多くの方が豪華賞品に当選されました。

ここでは当選された方々の喜びの声の一部をご紹介します。



ありがとう50年 これからも

「ありがとう50年これからもキャンペーン」

ご当選された退職組合員の皆様の声

※※ 納涼コース(ダイソンテーブルファン) ※※

当選者のコメント	所属／お名前
退職して、私のダイソン掃除機、妻のダイソンヘアードライヤーを今年購入しました。今回「ありがとう50年賞」でダイソンテーブルファンが当たり、ダイソン3兄弟になりました。ありがとうございました。	通建連合協和エクシオ 庄司 修 様
今まで様々な抽選等には、縁が無かったので今回の当選にビックリ。このテーブルファンの幸運の風にあやかり、年末ジャンボも二匹目の(?) 楽しみが増えました。有り難うございました。これからも電通共済様の御活動、期待してます。	NTT労組退職者の会 長野県支部協議会 ご所属の方
このたびは、「ありがとう50年賞」ダイソンテーブルファンを送付いただきびっくりしています。 さっそくテスト運転をしていると中学生の孫が帰宅しダイソンテーブルファンを見て「最高級の扇風機だよ。おめでとうばあちゃん。」といっしょによりこんでくれました。だいにに使わせていただきます。	NTT労組退職者の会 富山県支部協議会 江上 千鶴子 様
ダイソンのテーブルファン当たりました。おもいがけないプレゼント本当にありがとうございます。欲しかった商品ですが、おもいきれずにいました。退職後に造った趣味の部屋で大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。	NTT労組退職者の会 滋賀県支部協議会 ご所属の方

※※ 家族でグルメコース(ジェフグルメカード) ※※

当選者のコメント	所属／お名前
祝！創立50周年、誠におめでとうございます。 在職中から長期に渡り、保障という基盤をもとに、安心した生活を今日まで送れているのは、ひとえに共済の存在があったればこそと思っています。 今後は100周年を目指して頑張ってください、小生は百歳までは加入継続を予定でいます。	KDDI労働組合 郡司 実 様
電通共済生協50周年、誠におめでとうございます。「全国共通お食事券」を頂き、今年は家族全員で行うクリスマス食事会に利用させていただくことになりました。有難う御座います。	NTT労組退職者の会 東京支部協議会 中村 正義 様

これからも生協組合員・家族の「安心・安全」のためにがんばります。



電通共済生協
あゆみちゃん

当選者のコメント	所属／お名前
「ありがとう50年」のようなビッグなクイズに当選した経験がなかったものですから、家族みな大喜びです。 この当選は無事に退職できたことへのご褒美だと思っています。ジェフグルメカードありがとうございました。	NTT労組退職者の会 愛知県支部協議会 ご所属の方
退職までの42年間、その後の3年と電通共済生協にお世話になっております。実家の火災や入院など、様々な面で安心してここまでこれたのも、電通共済生協があつてのことです。今回、このような賞まで頂き、感謝しています。いただいたグルメ券は家族との団らんに、また友人との交流に活用させていただきます。ありがとうございました。	NTT労組退職者の会 大阪支部協議会 ご所属の方

*** くつろぎコース(マットレスパッド エアウィーヴ ライト) ***

当選者のコメント	所属／お名前
日頃は、病気や事故に合わないよう、「当たらぬが幸」と云い聞かせながら、元来勝負が弱い私、応募も忘れていましたところ今回の“当選”でしたので、驚きと同時に大変喜んでおります。ありがとうございました。 今後の人生、また何に“当る”か知れませんが、この機を良運への風と考えたいと思います。	NTT労組退職者の会 北海道支部協議会 斎藤 誠 様
まさか当選とは夢のようです。腰痛を和らげるべく購入を考えていたのでなおさら感激でいっぱいです。 早速使用させてもらっておりますが快適な朝を迎えて喜びをかみしめております。有難う御座居ました。	NTT労組退職者の会 東京支部協議会 ご所属の方
私の米子電報電話局入社は、52年前ですから、私の方が2年先輩ですね。入社当時は、工事用材料、工具類等をリヤカーに載せて歩いて工事現場に行ったこともありました。 今回の「ありがとう50年賞」の当選により、なつかしい当時を思い出しました。ありがとうございました。	NTT労組退職者の会 鳥取県支部協議会 宇山 節雄 様
なんの前触れもなく商品をお届けられまして、びっくりしました。ありがとうございます。 これからも電通共済生協とのつながりを続けていけたらと思います。どうぞよろしくお願いします。	NTT労組退職者の会 福岡県支部協議会 永隈 幸明 様

*上記、氏名の掲載されている方については事前に承諾を得て掲載しています。